

株式会社ミヤシタ (群馬県高崎市)



ミヤシタ社屋外観

創業は明治13年。米穀商から始まり、石炭販売からガスへと顧客のニーズや時代の流れをくんで経営業態を変化させ、地域密着企業として地域に親しまれている株式会社ミヤシタ。現在はLPガス事業のほか学習塾を運営するなど地域の暮らしに加え、子どもの成長を見守るなど多角化を進める。社内のチームワークの良さと協力会社との連携力を活かし、チームで顧客情報を共有しながら迅速な対応も評判だ。

安定したガス使用量の把握を実現

検針員の高齢化により常に欠員の不安があるほか、出勤シフトや天候不順により検針日のずれが発生するため、月ごとの正確な使用量が把握できないという問題を抱えていた同社。以前はネットワークコントロールユニット(NCU)を取り付けていたが、先に取り付けを行っていた卸系列企業からLPWA通信システムの情報を得て申請を決断した。導入後は検針業務の人的ミスが消滅したことや、天候や

人員に左右されることなく安定してガスの使用量が取得できるようになったことが大きいと同社の宮下功社長は話す。

電波が届きにくいと予想された山間部にも機器の設置を予定していたため、電波の安定性と信頼があるメーカーを選定。選定したメーカーは機器取り付けの設置数が多く実績があり、設置に関するノウハウの蓄積が心強かったという。



宮下功社長

短期間の申請作業で、困難だった顧客選定

今回の作業の難点としては、申請作業までの期間が短く、設置数に上限があるなかでの設置先選定が難渋。さらに全件の現地確認が困難だったため、予定していた設置先が電波の関係で設置ができなくなったケースがあり、設置リストに変更が生じた。加えて、設置写真に表記する通し番号はずれないように注意することをアドバイスとして挙げていた。メリットとしては、以前のシステムでは設置時に顧客が不在だと取り付けができなかったが、LPWAシステムはその心配がなく不在時でも設置ができるため特に遠方の作業の効率が上がったという。

導入後には、遠隔での遮断と現地での遮断を併用してしまったことで、訪問をしたにも関わらず開栓ができず顧客を待たせてしまうトラブルが発生。遮断ルールの制定を行った。

今後の展望

「まずは、事務作業を簡略化していきたい。郵送費などの経費削減を目指し、今年度中にWEB請求に向けたシステムの入替えを検討しています。また、得られる検針情報をシステムに反映することで効率化し、ミスの撲滅や、配送にも生かしていきたい。もうすぐ設置率が70%になるので、100%を目指しながら、来年にはゴールド保安認定事業者を取得するスケジュールを立てています。ゴールドになったら、システム導入のメリットなども発信していきたいと思います」と話す宮下社長。時代に合わせた臨機応変な対応がこの先も生かされていく。



受付

会社概要と LPWA 通信システムの実態調査票

会社名	株式会社ミヤシタ		所在地	群馬県高崎市下室田町 1125 番地 1		
社長名	代表取締役 宮下 功		事業責任者		役職名	
連絡先	部署名	事務担当	ホームページ	http://www.miyashita-co.com/		
	担当者名	宮下 弘美	電話番号	027-374-0003	従業員数	35 名
会社設立	1966 年 4 月 1 日					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・LP ガス供給事業 ・機器販売および工事 ・学習塾の経営 					
会社の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・創業明治 13 年。地域密着企業として顧客のニーズを捉え、臨機応変に経営内容を変化させている。 ・社内チームワークの良さと協力会社との外部連携力を活かし、顧客情報の共有をスムーズに行うことで、迅速な顧客対応をしている。 					
お客さま件数						

LPWA 通信システムの 具体的活用状況 (システム・サービス等 の概要)	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <具体的活用方法> 遠隔検針による指針取得。警報受信時の監視センターによる即時対応。					
	<申請前における業務上の問題点> ・検針員の出勤シフト等により、検針日が毎月一定の日にならない為、定期的な 1 ヶ月間の使用量の把握ができない。 ・ガスが出ないとの問い合わせに対し出勤するも、復帰操作のみで回復するケースが多かった。 <導入によって期待する効果> ・天候や社員の出勤状況に関わらず、指針が一括取得できる。 ・システムと連携することにより業務効率化が図れる。 ・ガスメーターが遮断した際に、自身で復帰出来ないお客様に対して即時の開閉操作が可能になる。 ・WEB 検針・請求を導入し、発送費などを抑え、さらに経費節減できる。					
導入費用総額	8,400,000 円(内補助金対象 5,600,000 円)			補助金額	2,800,000 円	
導入期間	補助金 申請日	令和 3 年	機器設置 完了日	令和 4 年	所要期間	7 ヶ月
		6 月 25 日		1 月 31 日		

実行体制	合計	7 名	うち社内	4 名	うち社外	3 名
-------------	----	-----	------	-----	------	-----

■LPWA 通信システム導入までのスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仕様検討	○											
メーカー選定	○											
設置先の選定		○										
補助金申請書作成			○									
事前調査				○								
事前周知					○							
工事期間						○	○	○	○	○		
試験運用							○	○	○	○		
本格運用										○	○	○
メーカー講習会				○							○	

通信機器メーカー選定の決め手	<p>・NTT テレコン 電波が入り難いと予想した山間部も設置予定先だったため。 集合住宅が設置予定先だったが、一つの機器で二メーター通信が取れる設置先が多かった為。</p>
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<p><発生した問題点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔での遮断、マグネットを当てた現地での遮断を併用した為に、現地に訪問したが開栓できずに、お客様を待たせたケースが発生。 ・検針作業は減ったが、その後の検針票送付等新たな事務作業が発生した。 <p><上記問題点を改善した方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遮断ルールの制定（遠隔遮断は、必ず遠隔開栓。現地遮断は、必ず現地開栓） ・WEB 請求に向けたシステム入れ替えを検討。（今年度導入予定）
導入によって得られた効果や、想定外の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・指針を手入力することがなくなり、誤入力のミスが無くなった。 ・社員が自宅待機等になった場合でも、影響なく指針が取得できた。 ・寒暖差が大きく、例年以上に「合計増加流量オーバー遮断」が多発したが遠隔開閉栓により、直ぐに復帰させることが出来た。 ・使用量変動の大きい顧客の随時検針を取り、配送センターに知らせることにより、ガス切れ防止できた。
効果の額	<ul style="list-style-type: none"> ・検針費用 = 検針時ガソリン代 20,000 円/月×12 ヶ月 = 240,000 円/年 削減 ・出勤費用 = 保安出勤の減少(電話対応や遠隔開閉栓にて処理可能) 3,000 円/件×5 件/月×12 ヶ月 = 180,000 円/年 削減
反省点	<p>検針票に代わる WEB 請求等の導入の遅れ。 詳しく事前周知を行った為に、電磁波に対して過敏なお客様から設置拒否がでてしまった。 (2 件)</p>
今後の拡張方針	<p><input type="checkbox"/>システム連携 <input checked="" type="checkbox"/>販売管理 <input checked="" type="checkbox"/>料金請求 <input checked="" type="checkbox"/>配送 <input type="checkbox"/>保安 <input type="checkbox"/>その他 ()</p>

自己評価 5 または 4 の場合は () 内に具体的内容	申請作業（ひな型を参考に作成）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	仕様確定（監視センターと相談し決定）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	メーカー選定（監視センターと相談し決定）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	事前周知（案内を検針時に投函）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	工事作業（地域ごとに設置）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	試運転（設置済からシステム稼働）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
	その他（）	大変だった	5	4	3	2	1	大変でない
申請から導入後 （現在）までの 反響・意見・要望	社内から	・検針業務が、天候や人員に左右されることなく安定して取得できるようになって良かった。また、検針値取得後の事務業務も日程通り進められるようになった。						
	社外（業界・取引先）から	・随時検針値が取得できるため配送予測に活かせて、ガス切れ防止できる。 ・同業との差別化が図られた。						
	お客さまから	・もしもの時に通報があがったり、ガスを遠隔で遮断してもらえるので安心。最新の保安通報装置をつけてもらえて良かった。						
補助事業申請予定者へのアドバイス （こうしておけば良かった、注意すべき点等）	設置予定先が電波の関係で設置不可になるケースがあり、予定していたリストに変更があるケースが発生する。設置写真には通し番号を表記するため、ずれないように番号付けに気を付ける。							